

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【公開番号】特開2008-296192(P2008-296192A)

【公開日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【年通号数】公開・登録公報2008-049

【出願番号】特願2007-147877(P2007-147877)

【国際特許分類】

B 09 B 3/00 (2006.01)

C 02 F 11/08 (2006.01)

【F I】

B 09 B 3/00 3 0 4 Z

B 09 B 3/00 Z A B Z

C 02 F 11/08

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月5日(2009.1.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

一方亜臨界水条件下で有機物を処理すること(特許文献1参照)、またこうした被処理物を無毒化すること(特許文献2参照)、さらに(財)科学技術振興機構による委託開発で実証実験が進められてきた鶏由来副生物からの有用成分装置(特許文献3参照)は既に知られている。なお、本発明の一部分は上記実証実験の開発成果として位置付けられるものである。

【特許文献1】特開平17-81330号公報

【特許文献2】特開2005-103539号公報

【特許文献3】特許第4156621号公報